

## 平成 29 年度 第 2 回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：平成 29 年 12 月 1 日(金) 午後 4 時～5 時

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

出席者：千坂経悦、望月 武、中野正文、平野弘蔵委員

長瀬教育長、桑原文化振興部長、佐藤市民学習支援課長、事務局 3 名

進 行：佐藤市民学習支援課長

### 1 開 会

### 2 あいさつ

会長 最初に、11 月に逝去された内堀清治委員へ黙祷を捧げたい。(全員で黙祷) いろんな活動の充実がみられると感じる。現在開催の「わらじ史学」は、地域の史学家「栗岩英治」の足跡を改めて見直すもので、地元飯山の検証も含め、ふるさと館ならではの企画であることを嬉しく思う。今後、ふるさと館の活動をいかに市民へ認知してもらい、広げていくかは、この会の役割でもある。

### 3 協議(進行：会長)

#### (1) 平成 29 年度事業中間報告について

(事務局) 資料に基づき説明 (P 2～7)

(会長) 質問等ありますか。

(会長) 城山の発掘を行ったようだが、報告書は出ているのか。

(事務局) 発掘調査を行った際には必ず報告書を作るので、今回も作成する。

(会長) 市民へ、もう少し周知するために飯山城についての展示を、発掘と併せて紹介するのも良いと思う。

(会長) 最近、寺町を案内する「寺町案内人」の方々をよく見かけるが、ふるさと館友の会とは関係あるのか。

(事務局) 窓口は駅の観光案内所(観光局)だが、友の会会員の方もいる。

(会長) 休日だけでなくウィークデイもよく活動されているようだ。

(委員) 友の会の「寺町部会」の皆さんが活躍しているようだが、それ以外の方もいると思う。

(事務局) 先月、駅観光案内所主催で「寺町ガイド養成講座」が行われた。ガイドのすそ野を広げ、さらなる活発な活動が期待できる。

(委員) ガイドにあたり、外国人の利用もあるのか。

(事務局) まだそこまではっていないと思われる。ふるさと館・公民館周辺でマップを見ながら散策する外国人は、たまに見かける。ガイドを付けず、自分で英語のパンフを見ながら市内を歩いているのだと思う。

- (委員) 実際外国人は増えていると思う。小菅を歩く方の姿もある。
- (会長) 英語の小菅パンフもあるのか。
- (事務局) 簡単なものだが商工観光課で作ったものがある。
- (事務局) 「なちゅら」を含めたこの周辺の英語のマップもある。
- (委員) そういう取組みは大事なこと。小菅など主要な場所などの解説を付けたものを今後作っていくことも大事だと思う。
- (会長) ふるさと館内にも英語表記が必要ではないか。
- (事務局) 主要な部分にはほぼ表記を行ったところ。主要部分に加え、昔の道具など外国の方が興味をもたれる部分への表記も行っている。
- (会長) 他にどうか。
- (委員) 報告では、学校関係の見学や体験学習がかなり来ており、中でも今年は中学生が増加、また、3学期には3・4年生の見学もあるということで、ずいぶんふるさと館の利用が定着してきたのだと感じた。出張講座も定着してきたと思う。学校としてもありがたいと思う。
- ところで、友の会の会員は今何人位いるのか。
- (事務局) 120名位である。市内だけではなく、市外近隣の会員もいる。
- (委員) 会員になるには何か審査のようなものはあるか。
- (事務局) 特になく、誰でも入会できる。
- (委員) 各部会があって、それぞれ活動しているということだが、必ずどこかの部会に入る必要があるのか。
- (事務局) それはない。部会は自主的なものであり、どこにも属さない会員の方が多い。
- (会長) 他には。
- (委員) 毎年、武蔵野市から多くの学校が来ているのはなぜか。
- (事務局) 市間での交流が以前から行われており、農業体験等も含め、長く滞在する中でふるさと館の見学も計画に組み入れられているようだ。
- (委員) 市内市外の小中学校の他に大学からも来てもらっているようだが、どういう目的か。
- (事務局) 法政大学小島ゼミの皆さんは、本町を中心とした街づくりや活性化に関する分野という目的で来館した。
- (委員) そういった来館の際に、感想などをアンケート調査はしていないのか。今後の参考になると思うが。
- (事務局) 今は行っていない。以前は行っていたが、実際あまり集計が集まらなかった経過がある。来てもらったときに感想などを聞くよう努めている。
- (事務局) 事業報告の補足として、3館4館共通券での入館に関してだが、今年は美術館で大きい企画展が2つ行われ、ふるさと館の入館数にも好影響があったと思う。今後も他館と連携を取りながら進めていきたい。

(2) 平成30年度事業計画について

(事務局) 資料に基づき説明 (P8～9)

(教育長) 「丸山邦雄」に関する企画展はできないのか。3月にNHKでドラマが放映されるし、市民に知ってもらうには絶好の機会と思うが。

(事務局) まだ計画の段階なので、検討は可能である。

(教育長) ただほとんど資料がないので、もしこれから予定に入れるとしたら、どう資料を集めるかが課題。富倉出身なので、地元で資料を探るか、明治大学で教えているので大学にも何か資料があるかも知れない。

(事務局) 企画展示ができる程の資料が集まるか、また、今からどれだけの準備ができるかなど課題も多い。企画展というものではなく、資料展示のような方法も検討したい。

(教育長) さらに、公民館の雪国大学に子息を呼んで講演してもらうということも可能では。

(委員) 須坂にも住んでいたと聞く。須坂にも何か資料があるのでは。

(教育長) 地域の「ふるさと教育」としてもぜひ取り上げたいところ。資料については、NHKからパネル等の資料を借りたり、丸山を演じる俳優に来てもらって話してもらうという手もある。

(事務局) 検討する。

(会長) 他には。

(教育長) 企画展の「飯山戦争」についてだが、奈良沢に良い資料が残っている。ぜひこの機会に資料を集めてみては。

(事務局) 明治となって150年ということで全県での取り組みがみられる。飯山でも紹介していきたい。

(会長) 夏の企画展の「なつかしの写真展」だが、市内に8ミリフィルムを持つてる家庭がまだかなりあると思う。この機会に収集したらどうか。

(事務局) 検討したい。

(委員) 8ミリの映写機はあるのか。

(事務局) ふるさと館で所蔵しているが、部品不足で映らない。

(委員) 8ミリをデジタル化しておいたら更に良いのでは。

(事務局) 検討してみる。

(教育長) また、近隣出版社で発刊した「なつかし写真集」などの中から、所有者を割り出して、その写真を借りたり収集することも良いのでは。ちょうど世代交代の時期なので、良いタイミングだと思う。

4 その他

(事務局) 特になし

5 閉会

(課長) それでは、これで第1回運営協議会を閉会します。